

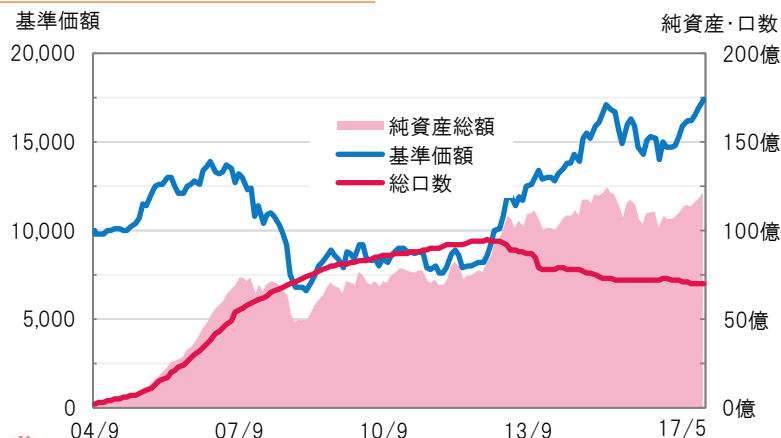
2017  
6月

# ありがとうファンド 月次運用レポート

第154号②【基準日 2017年5月31日】



## 基準価額の推移



## ファンドの情報

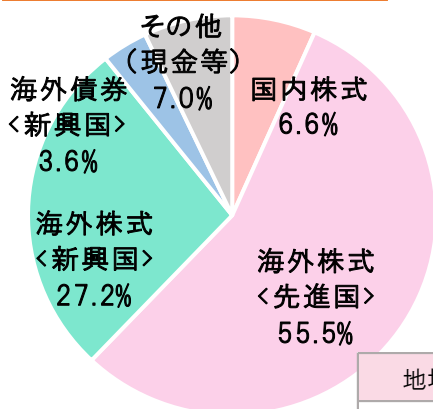
基準価額	17,417円
純資産総額	121億34百万円
口座数	4,722
積立割合	55.9%

## ファンドの騰落率

ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利	標準偏差
ありがとうファンド	+2.9%	+7.5%	+13.4%	+14.3%	+31.8%	+121.4%	+74.2%	4.45%	17.7
TOPIX配当込み	+2.4%	+3.1%	+7.9%	+16.1%	+38.8%	+141.6%	+74.7%	4.47%	22.6
MSCI ACWI (世界、円)	+1.5%	+4.1%	+10.4%	+17.8%	+29.0%	+149.8%	+159.9%	7.78%	22.2
MSCI KOKUSAI (日本除先進国、円)	+1.3%	+3.8%	+10.2%	+16.9%	+30.3%	+162.9%	+170.9%	8.13%	23.5
MSCI EM (新興国株、円)	+2.2%	+6.7%	+14.2%	+27.5%	+15.3%	+79.2%	+222.4%	9.62%	26.1

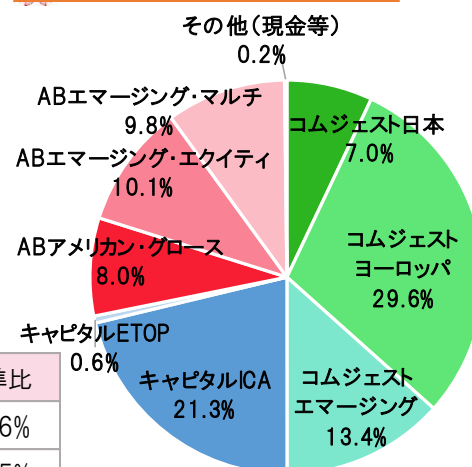
※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

## 資産配分(4月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	6.6%	6%	+0.6%
海外株式<先進国>	55.5%	58%	-2.5%
海外株式等<新興国>	30.9%	33%	-2.1%
その他(現金等)	7.0%	3%	+4.0%

## ポートフォリオ(5月末時点)



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

直近のマーケット動向、ありがとうファンドについて



5月のマーケットはどうでしたか？

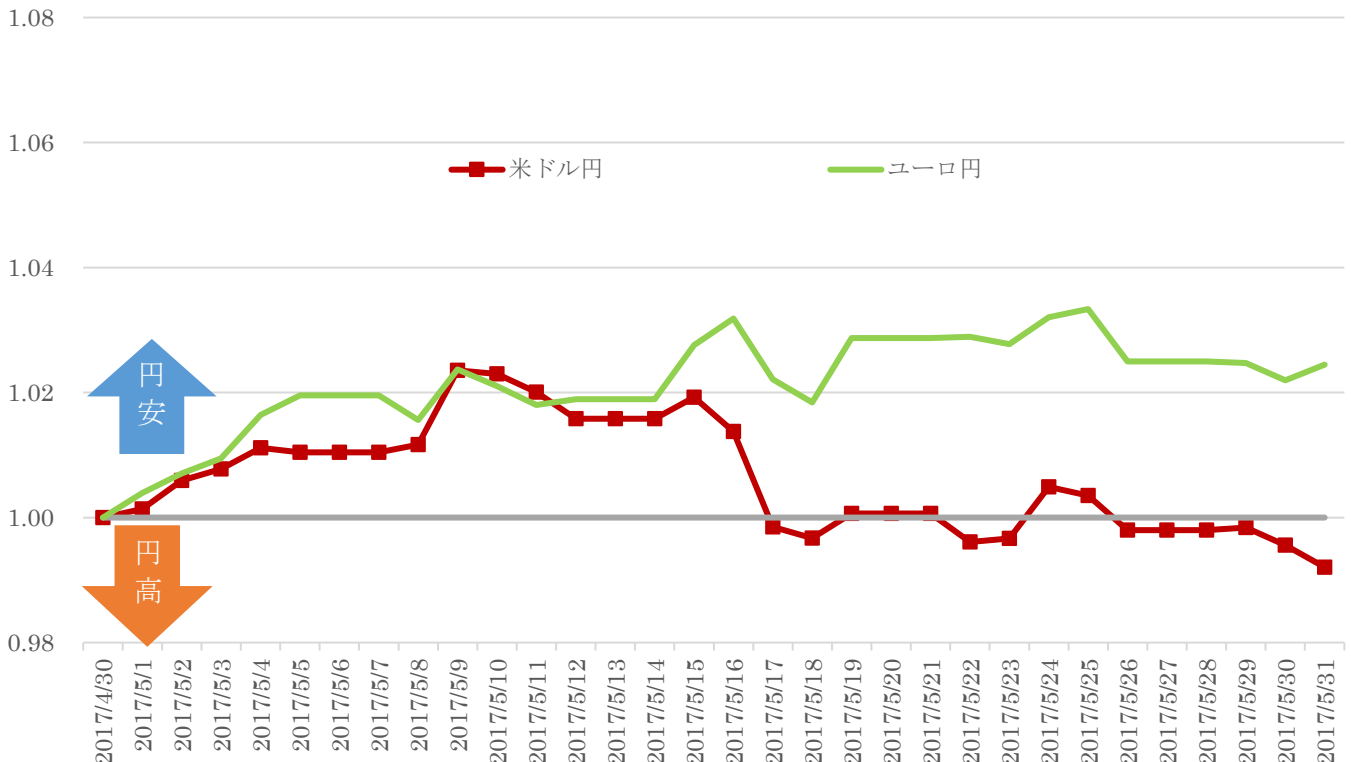
5月のマーケットの動きですが、今まで世界株式相場を牽引してきた米国株式市場が他市場比較で軟調な1ヶ月となりました。月前半はフランスの大統領選挙にて、大方の予想通りマクロン氏が選出されたことで、ヨーロッパ株式市場を中心に上昇しました。また決算発表シーズンだったこともあり、企業利益成長確度の高い優良銘柄が買われました。月中盤からは、トランプ大統領罷免の可能性がささやかれるなど、米国を中心とした度重なるスキャンダルが嫌気され軟調な展開になりました。月後半は、トランプ大統領の初めての海外訪問で特に問題発言が無かったこともあり横ばいの展開が続きました。

月間の騰落率としては、TOPIX(配当込み)は2.39%の上昇、米国S&P500(配当込み)はドルベースで1.41%の上昇、欧州MSCIヨーロッパ(配当込み)はユーロベースで1.74%の上昇、新興国MSCIエマージング(配当込み)はドルベースで2.98%の上昇となりました。

為替相場は月末時点で、米ドル/円が110円台半ばと、前月末比でやや円高にふれました。ユーロ/円は124円台前半となり、前月末比では円安にふれました。



【米ドル円、ユーロ円推移】2017年4月30日を1として指数化

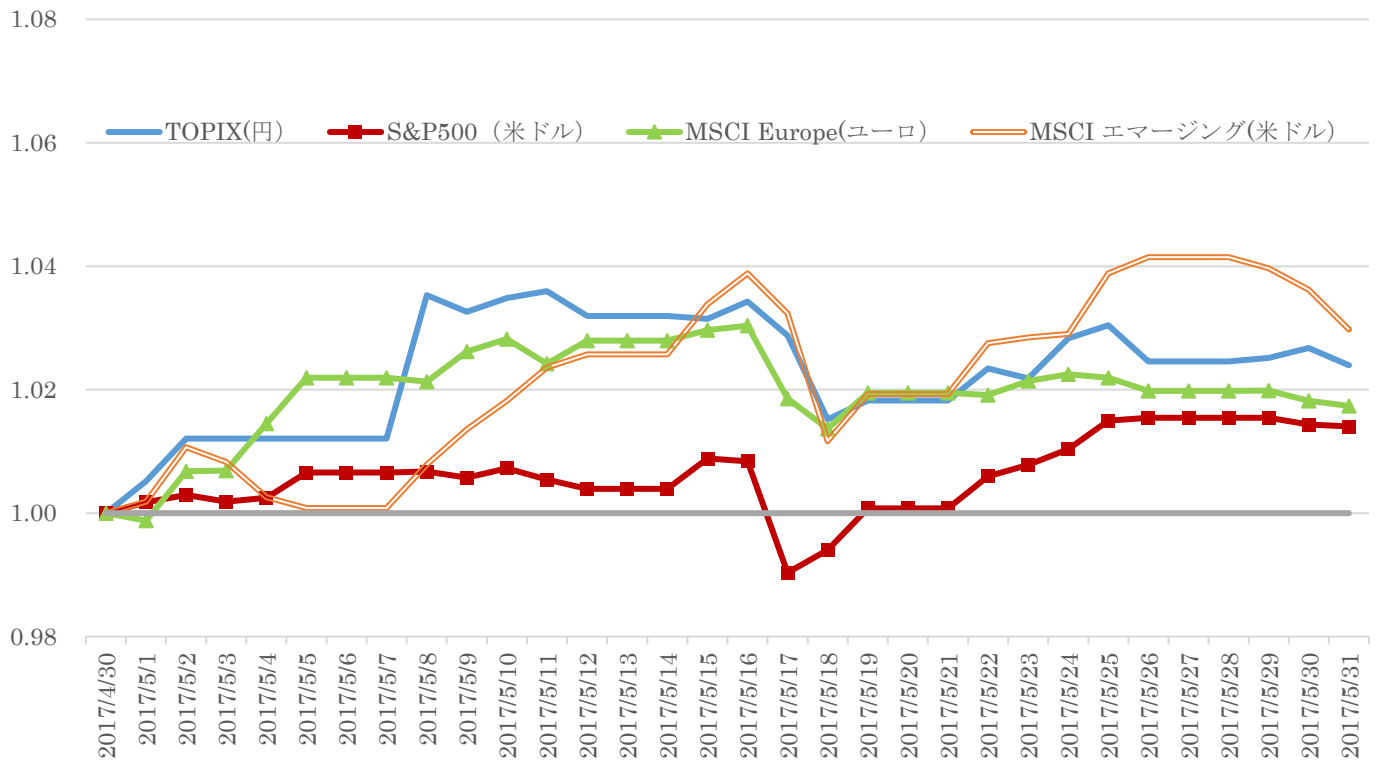


※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

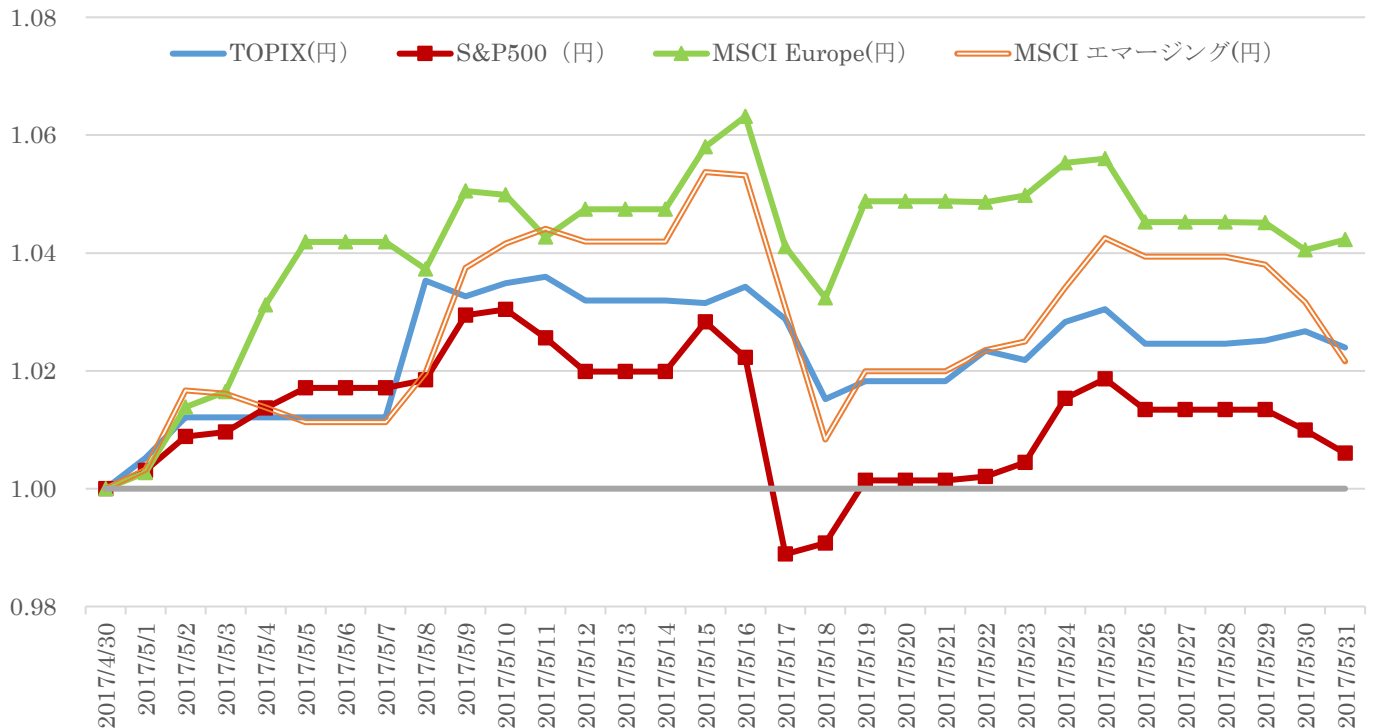
ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2017年4月30日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、円ベース)】2017年4月30日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照して頂くと、月中盤に米国株式市場が他市場に比べ低調に推移しているのが見て取れると思います。米国の景気は依然堅調ですが、それ以上にトランプ政権の政策運営の不透明感が強まったことが原因だと考えられます。



ありがとうございます。ファンドの運用はどうでしたか？

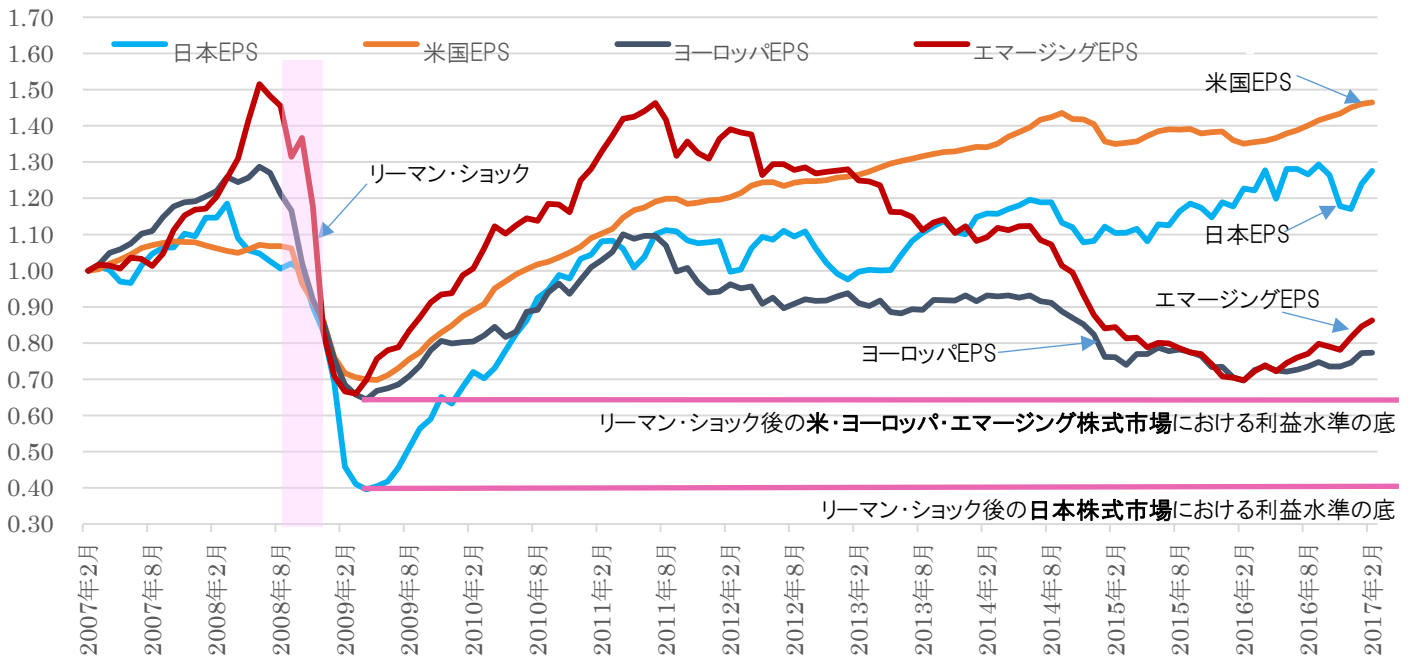
ありがとうございます。ファンドの5月月間騰落率は 2.9%の上昇となりました。投資先ファンドでは、コムジェストの3ファンド、AB アメリカン・グロースファンド、が各種参考指数(円ベース)に対しアウトパフォームしました。これは決算発表シーズンの中、これら4ファンドは成長銘柄を多く保有しており、決算内容が好感され、ありがとうございます。ファンドの基準価額上昇に貢献しました。

5月中の売買状況については、売買を見送りました。



今後の見通しはどうなりそうでしょうか？

今後の見通しについては、トランプ大統領の動向に一喜一憂するのではなく、あくまでも長期投資の視点からファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長に沿った成長銘柄が見直される相場になると考えております。下図では、リーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元5年ほど低迷していたエマージング市場と、ヨーロッパ市場は活気を取り戻しつつあります。こういった大きな流れはトランプ相場と言われる流行ものではないと考えております。



出所：ファクトセットよりありがとうございます。投信計算、EPSは2007年2月末を1として指数化

ありがとうございます。投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうございます。ファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとうございます。投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針はどうなりそうでしょうか？

今後の運用方針についてですが、世界経済はBrexit、トランプ大統領の選出、イタリア国民投票の結果などを見るに、保護主義・ポピュリズムが台頭するなど、大きな変革期にあるように見えます。株式市場という観点から考えると、リーマン・ショック後、各国・地域は金融緩和で各々の経済・株式市場を支えて、各市場同じ方向に動く局面が多く見られましたが、保護主義が色濃くなってきた昨今では、ある意味各市場同士の相関が薄れ、分散効果が見られるようになってきました。このような環境下では、一つの市場だけに投資することは非常にリスクが高いと考えますので、特定の市場に偏ることなく幅広く分散投資することで、長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。その点、ありがとうファンドでは引き続き国際分散を推し進めることにより、世界経済の変革期に対応していきたいと考えております。

また、投資対象のファンドという観点からは、去年後半から金融関連銘柄といった景気敏感株の株価上昇が目立ちましたが、当ファンドではあくまでも長期投資を前提とし、長期で企業利益成長が見込まれる銘柄を発掘するファンドを厳選して投資を続けていきたいと考えております。投資対象国・地域についても、前ページのEPS推移が示しているように、長く低迷していたエマージング市場、ヨーロッパ市場の企業利益改善にも注目しており、今後長期で伸びしろのある市場と考えております。



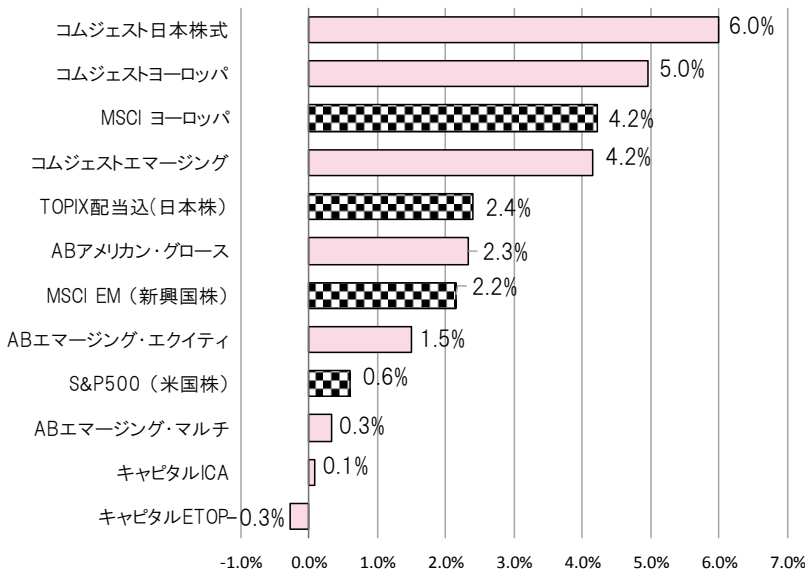


投資先ファンドの状況について教えてください。



まずは下の投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2017年5月31日時点)

【月間騰落率】



月間騰落率については、成長銘柄戦略のコムジェスト3ファンド、ABアメリカン・グロー

スファンドが参考指数(円ベース)に対しアウトパフォームしました。欧州市場では、昨年

から景気自体は底を打って上昇基調にありますが、昨年の英国のEU離脱を問う国民投票

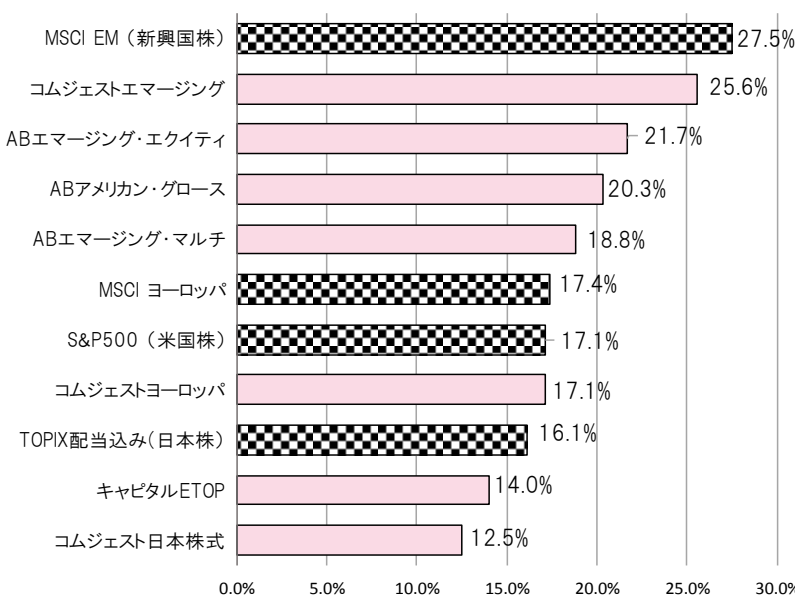
にて、まさかの離脱派が勝利する結果になったこともあり、政治面のリスク回避から株

価は他市場相対で伸び悩み局面が多く見られましたが、フランス大統領選の結果は大方

の予想通りだったこともあり、今月のヨーロッパ市場も引き続き大きく上昇しました。コム

ジェストヨーロッパファンドは、この点取りこぼし無く指数以上に上昇しました。

【年間騰落率】



年間騰落率については、去年の今頃は原油安などからの資源銘柄安、またマイナス金利

導入後で銀行をはじめとする金融銘柄などの景気敏感銘柄が大きく下げて、一方、昨

年後半からのトランプラリーでは、そういった景気敏感株が買い戻された相場になったた

め、景気敏感株をほとんど保有しない当ファンドの年間騰落率は景気敏感も含む指数に

対し低調なパフォーマンスになりました。

※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)



マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。(ありがとうファンド運用担当者)



## 投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジエスト日本株式	日本	7.0%	+6.0%	+8.7%	+13.2%	+12.5%			
	TOPIX 配当込み			+2.4%	+3.1%	+7.9%	+16.1%	+38.8%	+141.6%	+19.0%
2	ABアメリカン・グロース	米国	8.0%	+2.3%	+7.2%	+14.9%	+20.3%	+60.0%	+218.4%	+25.6%
3	キャピタルICA	米国	21.3%	+0.1%	+0.8%	+5.2%				
	S&P500 (米国、円)			+0.6%	+1.4%	+7.5%	+17.1%	+45.2%	+188.8%	+23.2%
4	コムジエスト ヨーロッパ	欧州	29.6%	+5.0%	+16.3%	+22.2%	+17.1%	+28.2%	+154.3%	+20.2%
	MSCI EUROPE (ヨーロッパ、円)			+4.2%	+12.1%	+19.7%	+17.4%	+10.9%	+141.6%	+18.9%
5	コムジエスト エマージング	エマージング	13.4%	+4.2%	+8.1%	+15.8%	+25.6%	+23.9%	+113.0%	+16.0%
6	ABエマージング ・エクイティ	エマージング	10.1%	+1.5%	+4.4%	+14.0%	+21.7%	+25.7%		
7	ABエマージング ・マルチ	エマージング	9.8%	+0.3%	+3.5%	+9.5%	+18.8%	+22.9%	+79.3%	+12.2%
8	キャピタルETOP	エマージング	0.6%	▲0.3%	+2.8%	+7.6%	+14.0%	+8.3%	+61.5%	+9.9%
	MSCI EM (新興国株、円)			+2.2%	+6.7%	+14.2%	+27.5%	+15.3%	+79.2%	+12.2%

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

### 積立投資のメリット



◆取得単価を平準化

◆時間分散でリスクを低減

◆長期で投資を継続しやすい

## 各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジスト日本株式ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄				5月31日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	5.1%	
2 ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	4.8%	
3 ファナック	日本	資本財・サービス	工作機械などに搭載されるCNC(コンピューター数値制御)装置の世界トップシェアメーカー。	4.1%	
4 ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	3.9%	
5 ポーラ・オルビスホールディングス	日本	生活必需品	大手化粧品会社グループ。高級スキンケア中心のポーラ、オイルカット(無油分)コンセプトに基づく中価格帯スキンケア中心のオルビスを主軸に、複数ブランドを展開する。	3.7%	

◎ニッポンコムジスト・ヨーロッパ・ファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄				5月31日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.0%	
2 INDITEX	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッション・アパレルのリーディングカンパニーの一つ	6.0%	
3 ESSILOR INTERNATIONAL	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.1%	
4 WIRECARD AG	ドイツ	情報技術	インターネットの支払・処理サービスを提供。オンライン支払、電子送金サービス、不正防止、ビジネスソリューションのソフトウェア・システムを手掛ける。	4.9%	
5 SARTORIUS STEDIM BIOTECH	フランス	ヘルスケア	ナイロン袋製造会社。病院や研究所で使用する滅菌溶液、および処方薬の袋などの製造に強み	4.6%	

◎ニッポンコムジスト・エマージングマーケット・ファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄				5月31日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 TAIWAN SEMI CONDUCTOR-SP ADR	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	5.1%	
2 CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	金融	中国北京に本社を置く生命保険会社、中国各地に代理店網を形成	4.7%	
3 NETEASE INC ADR	中国	情報技術	オンラインゲームやインターネットサービスを手掛ける。オンラインゲーム事業、広告サービス事業、電子メール・無線付加価値サービス・その他事業の3事業を展開。	4.2%	
4 POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド	公益事業	インド内での送電事業、電気通信事業、送電通信コンサルティング事業を主とする企業	3.7%	
5 SAMSUNG LIFE INSURANCE CO	大韓民国	金融	韓国の最大手生命保険会社。	3.7%	



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



◎キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ(ICA)

株式組入上位5銘柄					4月30日時点
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	4.4%
2	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	アメリカ	生活必需品	世界180カ国以上でマールボロなどの製品を販売する最大のたばこメーカー	2.7%
3	AMGEN	アメリカ	ヘルスケア	DNA組換えや分子生物学的技術を軸とした世界的バイオ医薬品メーカー	2.4%
4	Amazon	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	2.2%
5	ORACLE	アメリカ	情報技術	企業向けにソフトウェアやコンピュータ製品、そしてサービスを提供している。事業はソフトウェアとクラウド、ハードウェアシステム、サービスの3部門で構成。	2.1%

◎キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニティーズ クラスZ

組入上位5銘柄					4月30日時点
	銘柄	国	種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1	RUSSIA GOVERNMENT	ロシア	債券	格付BBB	3.8%
2	BRAZIL GOVERNMENT	ブラジル	債券	格付BB	3.7%
3	MEXICO GOVERNMENT	メキシコ	債券	格付A	3.5%
4	INDIA GOVERNMENT	インド	債券	格付BBB	3.2%
5	ARGENTINA GOVERNMENT	アルゼンチン	債券	格付B	2.5%

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ クラス受益証券

組入上位5銘柄					4月30日時点
	銘柄	国	種類	事業内容	組入比率
1	ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	7.8%
2	FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	7.2%
3	VISA, INC. Class A	アメリカ	金融サービス	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.2%
4	APPLE, INC.	アメリカ	テクノロジー	モバイル通信機器、メディア機器、PC、携帯音楽プレーヤーの設計、製造、販売を手掛ける。	4.4%
5	HOME DEPOT, INC.	アメリカ	一般消費財	建築資材やホームインプルメント(住まいを良くするための)製品を販売するホームセンター。	4.2%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ クラス株式

組入上位5銘柄					4月30日時点
	銘柄	国	種類	事業内容	組入比率
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)、移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.9%
2	ITAUSA INVESTIMENTOS ITAUSA	ブラジル	金融	サンパウロ証券取引所に上場している持ち株会社・コンゴロマリット。関連企業としては、金融業、建設業、化学製品・石油製品を営む企業などがある。	4.0%
3	KB FINANCIAL GROUP INC.	大韓民国	金融	KB国民銀行、KB国民カード、KB投資証券、KB生命、KB資産運用などの子会社を通じて、総合的金融サービスを提供する持株会社。	3.0%
4	ERSTE GROUP BANK AG	オーストリア	金融	銀行業および金融サービスを提供。リテール・中小企業部門、企業・投資銀行部門、マーケット部門、本社部門の4主要部門から事業を構成。	3.0%
5	OPT BANK PLC	ハンガリー	金融	60年以上の間ハンガリーの銀行部門における重要な役割を担ってきており、1989年からは複合的な商業銀行として業務を行っている。複数の子会社を通じてグローバルな金融サービスを提供している。	2.9%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ クラス株式

組入上位5銘柄					4月30日時点
	銘柄	国	種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1	MARUBENI CORP.	日本	資本財	総合商社としては、比較的バランスのとれた事業ポートフォリオを持つ。強みを持つ分野は、資源・エネルギー分野で銅の上流権益、食料で穀物分野、海外電力事業など。	3.2%
2	BRAZIL GOVERNMENT	ブラジル	債券	格付BB	2.3%
3	KINGBOARD CHEMICAL HOLDINGS LTD.	香港	加工業	化学メーカー。子会社を通じ、ラミネート、銅箔、ガラス布、ガラス糸、さらしクラフト紙、プリント回路基盤、その他化学製品を製造する。	2.2%
4	JIANGSU EXPRESSWAY CO. LTD. Class H	中国	資本財	有料高速道路の投資、建設、運営、管理を手掛ける。付帯サービス部門では、道路沿いで、ガソリン供給、食品、飲料、自動車修理、宿泊施設、小売といったサービスを手掛ける。	2.1%
5	WOORI BANK	大韓民国	金融	個人向けや商業銀行業務を提供する。具体的なサービスとしては、インターネットバンキング、預金、ローン、生命保険、為替取引、ファンド、年金、クレジットカード、資本市場関連業務、国際金融、資産管理など。	2.0%

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうピックス

『新投資先パートナー紹介：

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ゲーエムベーハー』



ありがとう投信株式会社

ファンドマネージャー 真木 喬敏

皆様、いつも大変お世話になっております。ありがとうファンドでは、さらなる国際分散投資を通じて運用パフォーマンスの向上を目指しており、投資先パートナー・ファンドの見直しを進めて参りました。この度5月末の信託約款変更のタイミングに合わせて投資先パートナー1社と投資先ファンド2本を追加しましたので、まずは投資先パートナーの方を紹介させて頂ければと思います。

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ゲーエムベーハーを新投資先パートナーとして採用いたしました。アリアンツは損害保険、生命保険業界で世界最大級の規模を有しておりますので、名前自体はどこかで聞いたことがあるという方も多いと思います。アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ゲーエムベーハーはその世界最大級の保険会社の強力なサポートのもと活躍するアクティブ運用に定評のある資産運用会社です。ちなみに、ゲーエムベーハー (GmbH) はドイツ語で有限会社という意味だそうです。私も日々勉強させて頂いております。私が以前板前修業していた割烹料理屋さんはまだ有限会社ですので、ドイツ風にしたらかっこいいだろうなんて考えてしまいました。

## Allianz

各中核事業において世界的な地位にある

<p><b>世界No1の 損害保険会社<sup>1</sup></b></p>	<p><b>世界No5の 資産運用会社<sup>2</sup></b></p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 10px;"> </div>	<p><b>世界No5の 生命保険会社<sup>3</sup></b></p>
---	--	---

**アリアンツ・グローバル・インベスターズ**

- 顧客中心の経営哲学「Understand. Act.」
- 18カ国に拠点を有するグローバルなプレゼンス
- 顧客の需要に合わせた運用戦略とソリューション
- 約59兆円もの運用資産<sup>4</sup>

**125年の長い歴史：**

- 顧客資産の保全
- リスクに留意した手法による資産運用
- 革新的なソリューションを顧客に提供

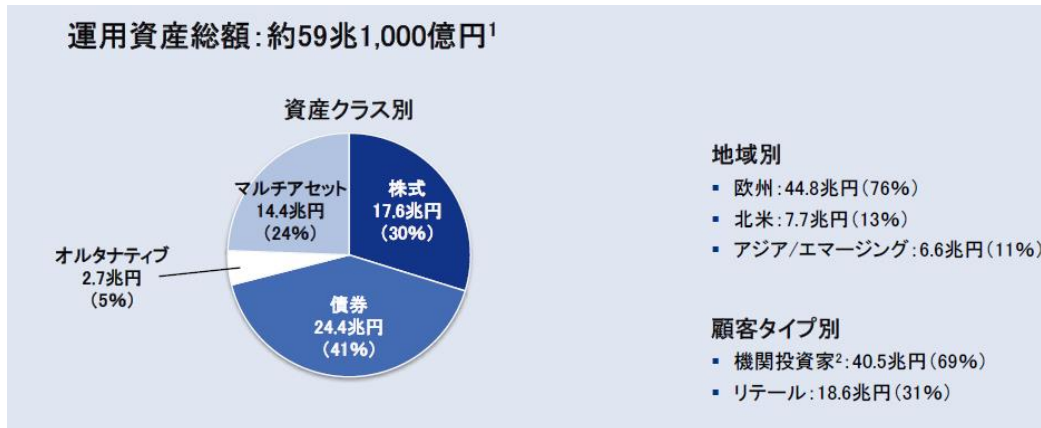
<sup>1</sup> 2016年の売上を元にした損害保険ランキングによる。出所：2016年のAllianz Group Annual Reportおよび同業他社の公表数値。

<sup>2</sup> 出所：P&I/Towers Watson World 500: World's largest money managers (Pensions & Investments) 2016年10月31日時点。2015年12月31日時点の運用資産総額による。

<sup>3</sup> 生命保険事業の営業利益による。出所：2015年のAllianz Group Annual Reportおよび同業他社の公表数値。

<sup>4</sup> 2016年12月末の運用資産。数値は2016年12月末の為替レート(1ドル=116.635円)を使用して計算しています。出所：AllianzGI。

運用資産総額は約59兆円(2016年12月末時点)と、規模的にも世界有数の資産運用会社の一つです。またドイツ発祥ということもあり、特に欧州の投資戦略に強みがあります。このたび採用に至った2本のファンドについても、欧州の成長銘柄の選定に定評がある専用チームから採用しております。



出所: AllianzGI。<sup>1</sup> 2016年12月末時点。数値は2016年12月末の為替レート(1ドル=116.635円)を使用して計算しています。<sup>2</sup> ミューチュアルファンドの機関投資家シェアクラスの残高を含んでいません。

投資手法の特徴としては、グラスルーツ・リサーチ(草の根・調査)という足を使う調査方法を採用しております。通常運用会社のアナリストは企業のIR (Investor Relations: 投資家向け広報)と定期的に面談し、今後の事業方針について質問することなどにより、今後の企業業績を予想する際の根拠となる情報を収集しています。しかしながら、企業IRの見立てが必ずしも正しいとは言えませんし、それを100%鵜呑みにするわけにはいきません。よって、客観的に情報を収集する必要があります。こういった場面で、同社のグラスルーツ・リサーチが活躍します。この調査手法は、ポートフォリオマネージャーが保有している銘柄情報の確度を測るため、調査員に足を使ってもらい調査するというコンセプトです。

**目的:**  
運用プロフェッショナルに対して、タイムリーな企業・業界情報を提供し、転換点を認識し、確信度を高めるために役立てる

**手法:**

- ポートフォリオ・マネージャーやアナリストが選定した銘柄のドライバーに関する質問に答える形でレポートを作成

**調査資源:**

- 10名のインハウス・スタッフ
- 60名のレポーター
- 300名以上のフィールド調査員
- 50,000件以上の各業界情報源

**結果:**

- 月30以上の企業/業界に関するレポート



## 投資の意思決定のため、現実性を検証する

2016年9月末時点。グラスルーツリサーチはAllianz Global Investorsグループ会社の一部門であり、運用プロフェッショナルのために調査を行います。グラスルーツリサーチにおいて使われるデータは、独立した調査提供者として活動しているレポーターおよびフィールド調査員からもたらされ、顧客資産の運用において取引を執行するときの手数料によってその対価が支払われます。出所: AllianzGI。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

例として、Scout24というドイツ企業についてのグラスルーツ・リサーチを見てみましょう。Scout24は不動産物件のオンラインベースでの広告事業を主な事業としています。今後ドイツ国内の不動産仲介業者は紙ベースでの広告よりもオンラインベースでの広告に予算を割くだろうという前提のもと、事業を拡大しています。銘柄選定をするポートフォリオマネージャーとしては、広告のデジタル化は社会一般的な傾向と考えることもできますが、ひょっとしたら紙ベースの方がローカルな不動産物件市場ではまだ効果があるといった可能性も否定できません。このような時に、グラスルーツ・リサーチを使うことにより、オンラインベース広告に対する需要の方が強いだろうという前提を客観的に評価することができ、業績予想の確度を向上させることができます。実際のグラスルーツ・リサーチの結果では、ドイツの大手不動産仲介業者の広告費予算の4分の3はオンラインベースの広告であること、また今後もその傾向は続くこと。加えて、不動産物件オンライン広告分野で、独占的なマーケットシェアを確立している Scout24はブランド力もあり、価格についても交渉力があることがわかりました。これらの調査結果をもとに、強い需要と、高い価格交渉力から、量・質兼ね備えた高い収益性が期待できると判断できるわけです。こういった運用会社自前の調査活動には費用も多くかかるとは思いますが、この度採用した2つのファンドの信託報酬はそれぞれ0.45%とありがとうファンドで現在組み入れているヨーロッパ担当ファンドの半分以下で設定されています。これもひとえに強力な親会社のサポートがあるからこそ可能なのだと思います。



出所：アリアンツ・グローバル・インベスターズ資料、会社資料より、ありがとう投信作成

実際組入れる2本のファンドについては、基本的には既存のヨーロッパ担当ファンドと投資哲学も同様で成長銘柄に厳選投資を前提としています。ヨーロッパ市場はリーマン・ショック以降景気後退が長く続いてきた分、足元の景気改善局面、フランス大統領選など政治的なイベントリスクも後退してきたことなどから、中長期で株価の伸びしろも大きいと考えております。今現在1本のファンドでありがとうファンドの欧州約30%を担当していますが、今後は信託報酬の低い新規2ファンドを加えて、3本のファンドを通して中長期で安定的なパフォーマンスを実現したいと考えております。また、[設定来から2017年4月末までのパフォーマンスをありがとう投信ホームページで公開](#)していますので、そちらもご参考頂ければと思います。新規2ファンドの特徴については来月以降、実際に組入れている個別銘柄紹介を通して説明させて頂く予定です。また、7月後半以降、新投資先パートナー・ファンド紹介セミナーを全国で企画しておりますので、ご興味ございましたらご参加検討いただくと幸いです。

◆記載内容について：資料に記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。



## ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972% (税抜 0.9%) の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.6% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒110-0005 東京都台東区上野 3-19-4 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

